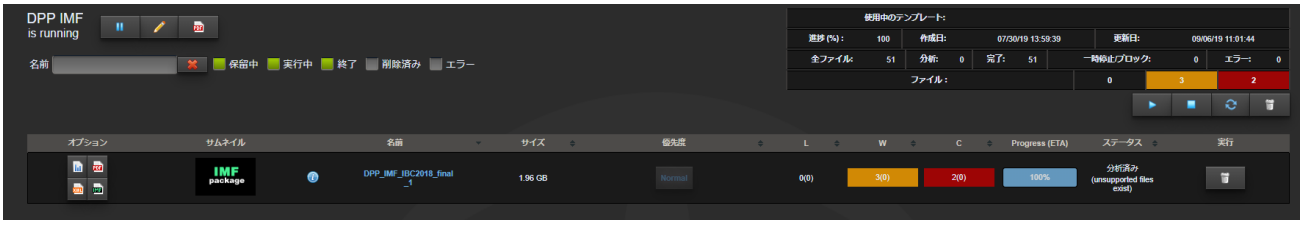
QScan V3.4.0　リリースノート

2019年 5月

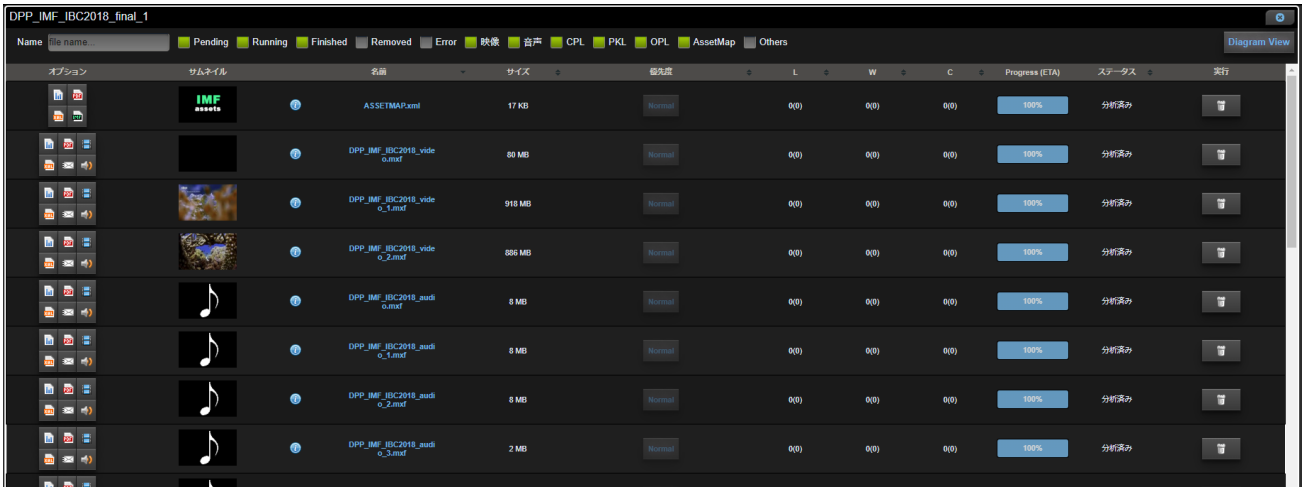
一般機能

新しい IMF パッケージ表示（リスト/ツリー表示）

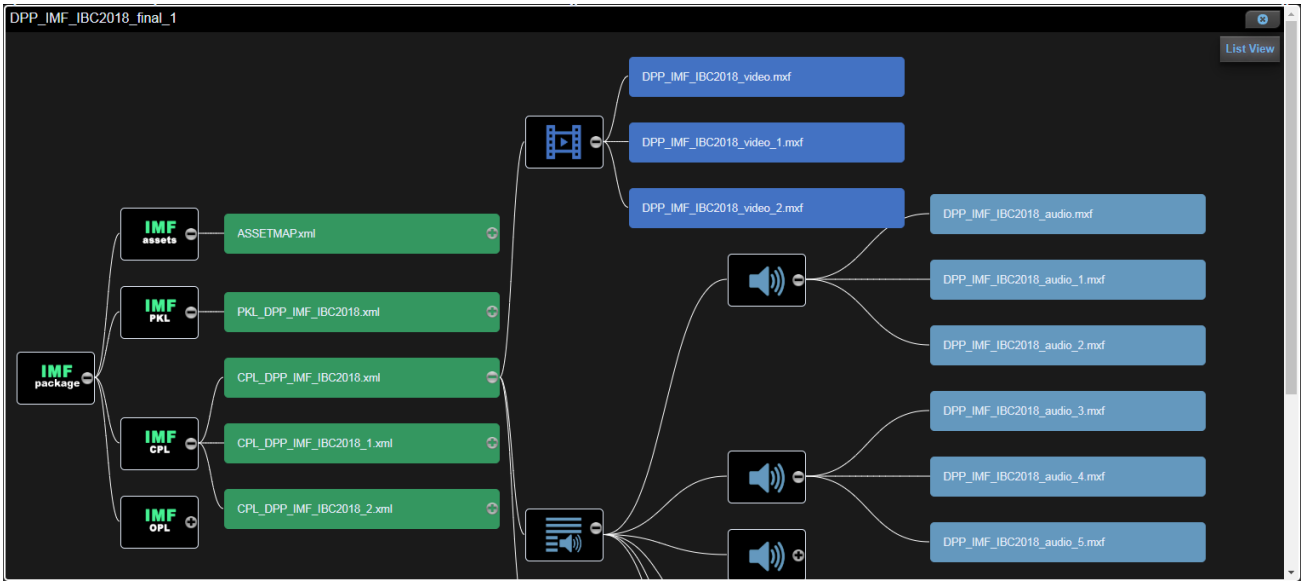
1. IMF パッケージがプロジェクト上で 1 つのファイルとして表示されます。



2. IMF パッケージ名をクリックすると、新しいフィルタリング項目とともにリストビューが表示されます。



3. 右上の「Diagram View」をクリックすると、新しいツリービューが表示されます。ツリーを展開して IMF パッケージの詳細情報と構造にアクセスすると、IMF パッケージ内のファイルの関係が理解しやすくなります。



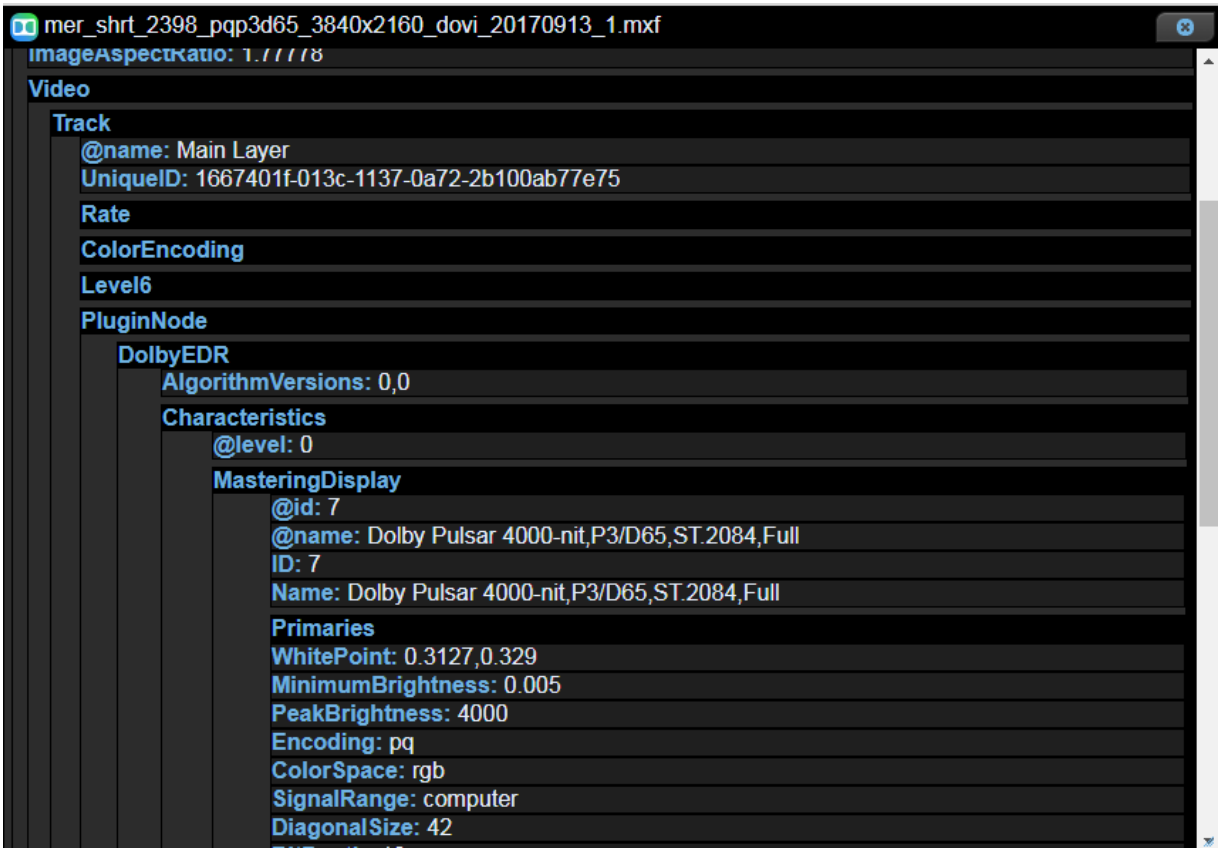
Dolby Vision HDR の適合性チェック

Dolby Vision HDR が QScan に統合され、Dolby Vision Professional Tools に準拠した HDR ファイルの適合性チェックを行うことができるようになりました。ビデオのフォーマットチェック内で、新しい Dolby Vision HDR パラメーターが利用できます。これにより、以下の適合性チェックを行えます。

- マスタリングモニターの妥当性
- ターゲットディスプレイの妥当性
- カラーエンコーディングの妥当性
- オーバーラップのショット
- ショット間のギャップ
- デュレーションがマイナスとなるショット（フレーム番号）
- L1 メタデータ
- L2 メタデータ
- L6 メタデータ
- MaxFALL
- MaxCLL

Dolby Vision メタデータの抽出と視覚化

ビデオフレーム内に埋め込まれた Dolby Vision HDR メタデータを抽出できるようになりました。プロジェクトビューでファイル名をクリックすると、ビデオファイルから XML が抽出され、展開可能なツリービューとして表示されます。



タイムライン表示

Dolby Vision HDR ショットのタイムライン表示

Dolby Vision ショットがタイムラインビューで表示され、Dolby Vision メタデータで定義された各ショットを視覚的に識別できるようになりました。各ショットは、タイムライン上で色分けされた領域で表示されます。これにより、各ショットの始めと終わりを識別することができます。

Dolby Vision HDR ショット情報

ショット情報を表示するには、タイムラインビューのアクションボタンの隣にある Dolby アイコンをクリックします。タイムラインマーカーのあるショットの情報が、展開可能なツリービューで表示されます。

【Dolby Visionに関する注意】

新しいDolby Vision HDRチェックを使用する予定のユーザーは、DolbyよりDolby Visionライセンスを取得し、QScanを実行するローカルおよびノードのPCにDolby Vision Professional Toolsをインストールする必要があります。

新しいパラメーター

True Peak 計測

オーディオ True Peakの計測が、オーディオのパラメーターリストに加わりました。2つの新しいパラメーターがあります。True Peak、およびラウドネス用でEBU R128ラウドネス仕様に準拠したMax True Peakです。

新しいビデオレベル設定

以前のバージョンでは、最大/最小のルミナンスまたはクロミナンスレベルにおいて、たった1ピクセルであってもしきい値の条件に合致した場合にイベントを生成していました。これはリーガライザーを使用するケースで問題がありました。というのも、多くの場合において、1ピクセルが範囲外となることでイベントのトリガーになってしまうためです。ユーザーは、イベントの生成のために範囲外とする特定のピクセル量を指定することができませんでした。ルミナス/クロマヘッドルームおよびフットルームにより、この固定のレベルを修正します。

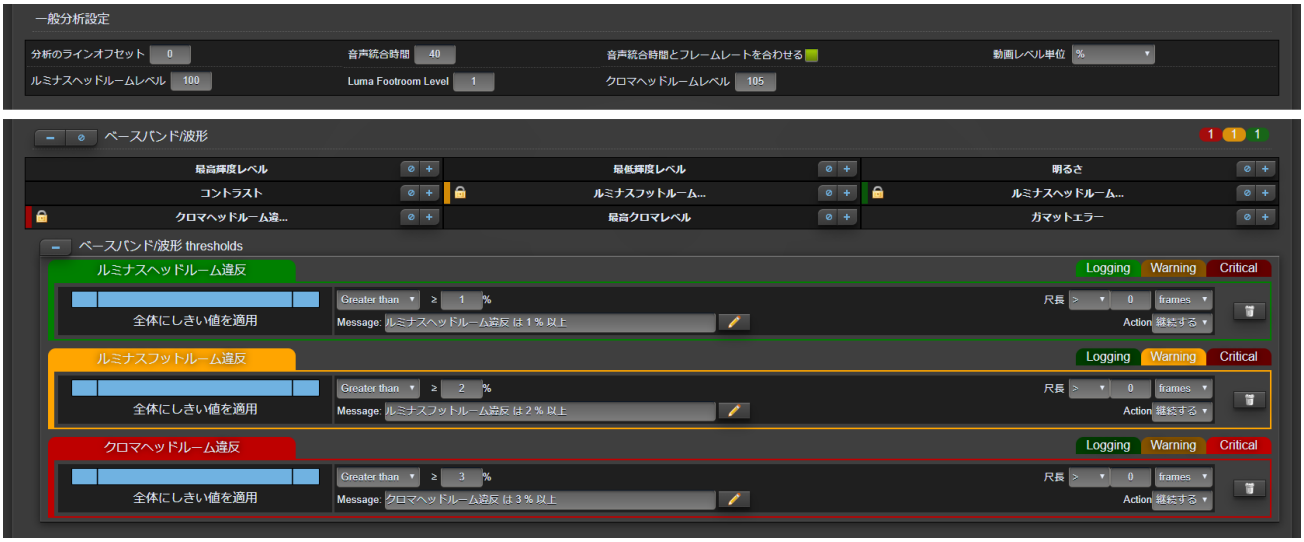
本バージョンからは、3つの一般的なプロジェクト設定が追加されています。ルミナスヘッドルームレベル、ルミナスフットルームレベル、クロマヘッドルームレベルです。これらの新しい設定では、ヘッドルームおよびフットルームのレベルを指定できます。したがって、ルミナスヘッドルーム違反、ルミナスフットルーム違反、そしてクロマヘッドルーム違反が、イベントを生成するためのしきい値に対して、条件に合うピクセル量を設定することが可能となります。

※設定例（下のスクリーンショット参照）
ルミナスヘッドルームレベル ＝ 100、ルミナスフットルームレベル ＝ 1、
クロマヘッドルームレベル ＝ 105

ルミナスヘッドルーム違反 ＞ 1%、ルミナスフットルーム違反 ＞ 2%、
クロマヘッドルーム違反 ＞ 3%

結果として、以下の場合にイベントを生成します。

- ピクセルのうち1%がルミナンスレベル100%を越える場合
- ピクセルの2%がルミナンスレベル1%を下回る場合
- ピクセルの3%がクロマレベル105%を越える場合



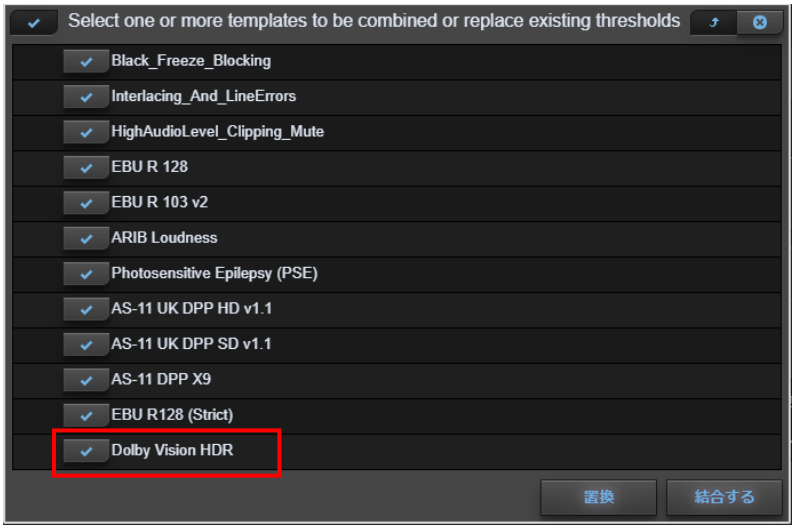
新しい MXF メタデータチェック

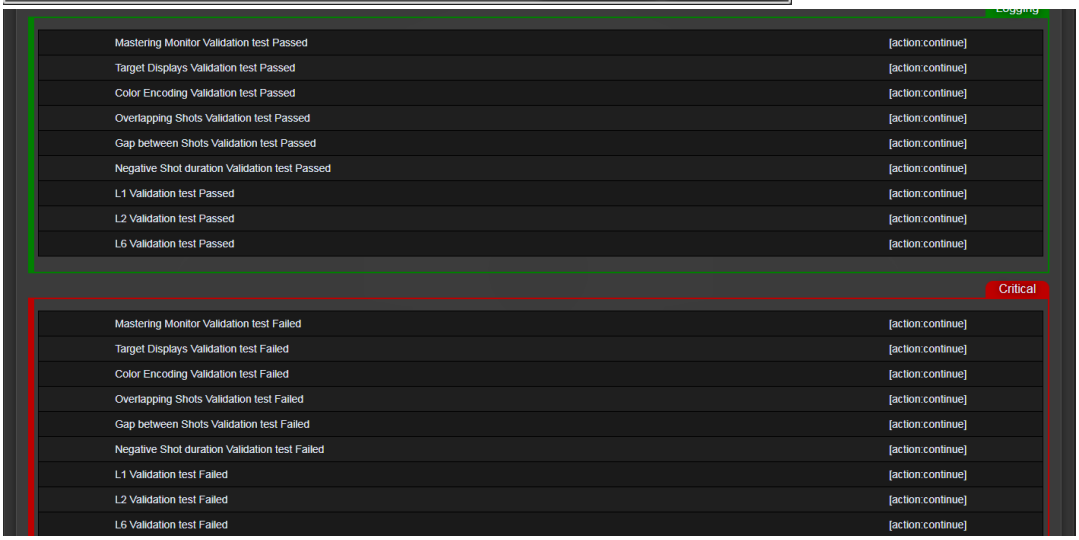
一般的な MXF メタデータ検査を可能にするために、新しい MXF メタデータチェックが追加されました。これらの新しいパラメーターにより、AS-10、ARD / ZDF、およびその他の MXF 標準形式のテンプレートを作成できます。（現在 AS-10 および ARD / ZDF のテンプレートを構築中）

テンプレート

Dolby Vision HDR用の新しいビルトインテンプレート

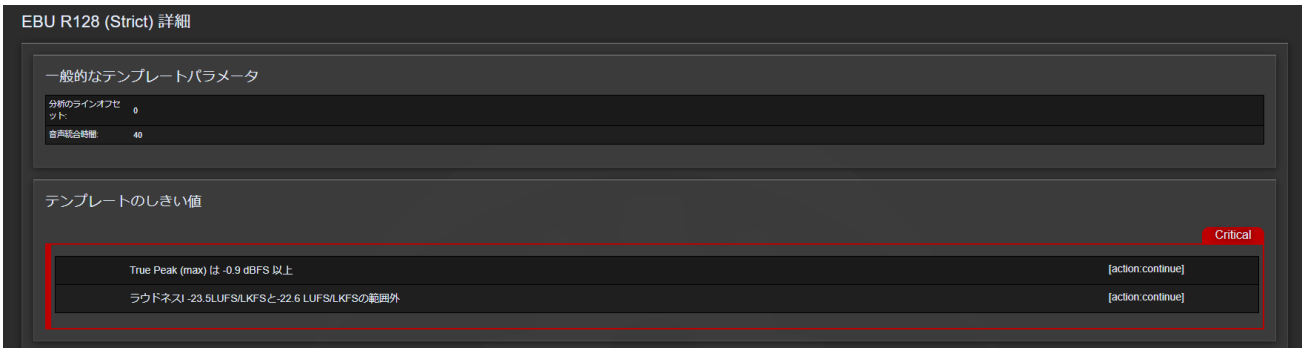
Dolby Vision HDRチェックの追加により、Dolby Vision HDRへの準拠を検査する新しいテンプレートがソフトウェアに組み込まれ、Dolby Visionで定義された適合性をチェックできるようになりました。





厳密な EBU R128（ラウドネス）向けの新しいビルトインテンプレート

Max True Peak が EBU R128 テンプレートに追加されました。また、新たに EBU R 128 の厳密（Strict）方式も作成され、組み込みテンプレートとして追加されました。



レポート

マクロのイベントが XML レポートで利用可能に

これまでは、マクロのイベントは HTM と PDF レポートに表示されていました。本バージョンより、マクロのイベントは XML レポートにも表示されるようになりました。このため、QScan を Flow に統合して運用している場合にはマクロのイベントを表示することが可能になります。

```
<Event program="0" severity="LOGGING">
  <Message>Interlacing and BFF detected</Message>
  <FrameStart>417</FrameStart>
  <FrameDuration>1</FrameDuration>
  <TimeStart>00:00:16:970</TimeStart>
  <TimeDuration>00:00:00:040</TimeDuration>
  <MacroId>4</MacroId>
</Event>
<Event program="0" severity="LOGGING">
  <Message>Interlacing and BFF detected</Message>
  <FrameStart>467</FrameStart>
  <FrameDuration>9</FrameDuration>
  <TimeStart>00:00:18:970</TimeStart>
  <TimeDuration>00:00:00:360</TimeDuration>
  <MacroId>4</MacroId>
</Event>
<Event program="0" severity="LOGGING">
  <Message>Interlacing and BFF detected</Message>
  <FrameStart>477</FrameStart>
  <FrameDuration>1</FrameDuration>
  <TimeStart>00:00:19:370</TimeStart>
  <TimeDuration>00:00:00:040</TimeDuration>
  <MacroId>4</MacroId>
</Event>
<Event program="0" severity="LOGGING">
  <Message>Interlacing and BFF detected</Message>
  <FrameStart>482</FrameStart>
  <FrameDuration>2</FrameDuration>
  <TimeStart>00:00:19:570</TimeStart>
  <TimeDuration>00:00:00:080</TimeDuration>
  <MacroId>4</MacroId>
</Event>
```

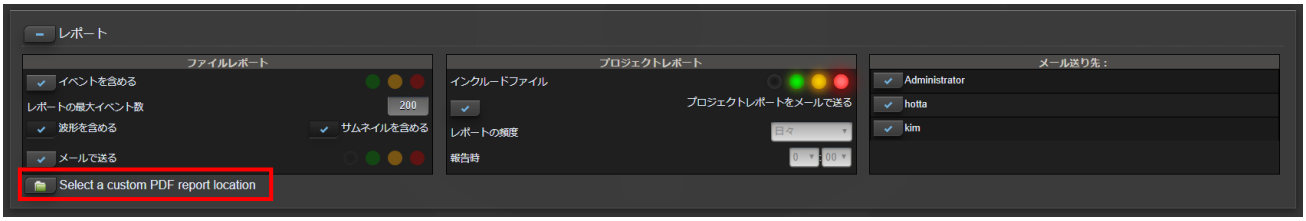
設定および管理

Dolby Vision HDR の設定

新しい Dolby Vision HDR チェックを使用できるようにするには、ユーザーが Dolby とライセンス契約を結ぶ必要があります。ライセンス契約により、Dolby Vision Professional Tools をシステムにインストールすることが可能になります。その後、ユーザーは QScan が Dolby Vision のソフトウェアから必要な機能を呼び出すことができるように、Dolby Vision Professional Tools のインストールパスを設定する必要があります。これはバージョン 3.4.0 のノード設定内で行います。

PDF レポートの保存場所の設定

PDF レポートを、ユーザーが選択した場所に保存できるようになりました。プロジェクト設定内の「レポート」セクションで設定が可能です。

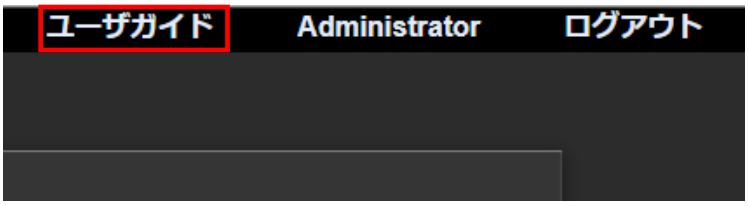


ソフトウェアのローカライズ ― 翻訳ファイルのダウンロード/アップロード

ソフトウェアのローカライズには、GUI 中で使用されている全ての文字列を含む.pot ファイルが必要でした。本バージョンからは、POT エディターを使用して新しい翻訳を追加し、コンパイルした.po ファイルを作成して QScan にアップロードすることが可能です。ドロップダウンリストから GUI に表示したい目的の言語を選択すると、新しい言語に切り替わります。

ユーザーガイド

「ユーザガイド」メニューをクリックすると、QScan からユーザーガイド（英語版）をダウンロードすることが可能になりました。



ビジュアル・グラフィックス株式会社
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 3-1-7 タマビル恵比寿 2 階
TEL: 03-6277-1891
E-mail: qscan@vgi.co.jp